

**製品名: ERK2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01524**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 41 kDa; Observed MW: 41 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAPK1
別名	ERK; p38; p40; p41; ERT1; MAPK2; PRKM1; P42MAPK; p41mapk; MAPK
遺伝子 ID	5594
SwissProt ID	P28482
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

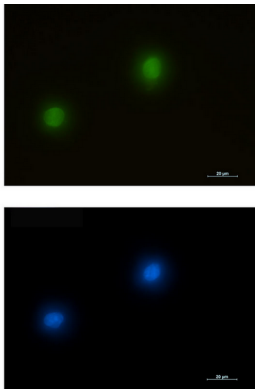
複数の生化学シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、様々な細胞プロセスに関与しています。ERK2の活

性化には、上流のキナーゼによるリン酸化が必要です。ERK2 は休止期細胞の細胞質に存在し、細胞外刺激を受けると二量体の能動輸送によって核に移行します。ERK2 は胎盤の発達に必須であり、栄養膜区画における ERK2 は迷路の血管新生に不可欠であると考えられます。

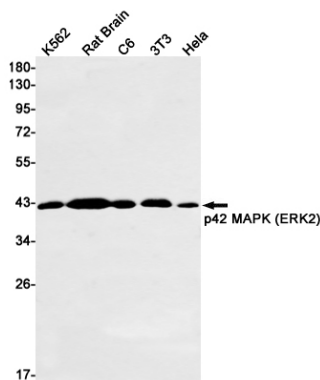
## 研究分野

神経科学

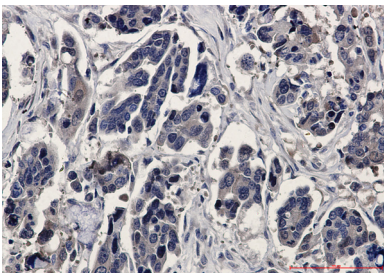
## 画像データ



ERK2 抗体と DAPI (青) を使用した K562 の ERK2 (緑) の免疫細胞化学分析。



ERK2 抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の ERK2 のウエスタンブロット分析。



ERK2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。